

第 27 回 校内スピーチコンテスト

最優秀賞はインドネシアのジョアンナさん

7 月 29 日に、ハイレブプラザいたばしで校内スピーチコンテストを開催しました。各クラスの予選を勝ち抜いた代表 10 人が、日ごろの学習成果を発揮し熱弁をふるいました。万全の感染症対策を講じた上で、3 年ぶりに来賓もお迎えしました。

最優秀賞は、「社会の期待と私」をテーマに発表した Joanna Carla Santoso さん(インドネシア)が受賞しました。(3 面に原稿を掲載)自身が描く将来と期待される将来との狭間で葛藤した経験、そして選んだ道について、情熱的に語ってくれました。優秀賞には、何佩萱さん(台湾)と鄧承進さん(香港)の 2 人が選ばれ、努力賞には、洪偉軒さん(台湾)が選ばれました。洪さんは初級クラスの学生ですが、ユーモアたっぷりに、堂々としたスピーチを披露しました。

コンテストを盛り上げるポスターは、Yuvahong Phorrapphat さん(タイ)と呂恒慧さん(台湾)が作成しました。

入賞者には、後援会から賞品が贈られました。最優秀賞は横浜八景島シーパラダイスのペアチケット。優秀賞は①納涼セット(扇子・手ぬぐい・風鈴)と②和セット(輪島塗のお椀・夫婦箸)のいずれか。努力賞は今年から「先生のふるさとの一品」が贈られます。今年は関西出身の石津先生セレクトで、ご当地ブリッツと神戸プリンでした。また、今年も輪島塗のセットは漆工芸作家の垣内幸彦様からご提供いただきました。(山下)



【スピーチコンテストの全出場者と演題(発表順)】

1	呉芷瑋 (E・香港)	「夢」を育てよう
2	Surattanasurang Pavarase (D・タイ)	もし神様にお願いできるのなら
3	Joanna Carla Santoso (A2・インドネシア)	社会の期待と私
4	韓昇勳 (G・韓国)	尊敬する人
5	鄧承進 (C・香港)	批判的思考
6	Galvina Malika Asta (B・インドネシア)	時間厳守国、日本での生きる術
7	洪偉軒 (F・台湾)	日本と台湾のコーヒー文化
8	Vu Thi Hong Nhung (D・ベトナム)	「ママ」という仕事がある
9	陳倪童 (E・香港)	失敗しても大丈夫
10	何佩萱 (A1・台湾)	あの日の晩ご飯

7 月の日本語能力試験(JLPT)結果

N1で77.7%、N2で85.7%が合格

7 月 3 日実施の 2022 年度第 1 回日本語能力試験(JLPT)の結果が発表されました。JET からは、36 人が受験しました。

受験した学生の中で、15 人は昨年度までオンラインで受講していました。そのうち 13 人が合格しました。

今回 N1・N2 校内ベスト 3 に輝いた 6 人もオンライン生でした。苦難にめげず努力し続けた結果がかたちとなりました。

《N1 校内ベスト 3》(180 点満点)

順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	A1	王 颯心	台湾	167
2	C	梁 永榮	香港	140
3	C	張 婷雯	台湾	138

N1 校内平均 116.9 点

試験の結果、N1 では受験した 9 人のうち 7 人が合格しました。合格率は 77.7%でした。校内トップは、王颯心さん(台湾)の 167 点でした。校内平均点は 116.9 点で、全受験者の平均 88.0 点を 28.9 ポイントリードしました。

N1 分野別で満点 延べ 3 名

分野別に見ると、「言語知識」では、王さんが 60 点満点でした。また、「読解」では、王さんと梁永榮さん(香港)の 2 人が 60 点満点でした。

《N2 校内ベスト 3》(180 点満点)

順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	A2	Ezra Budi Emanuel	インドネシア	167
2	A2	Joanna Carla Santoso	インドネシア	152
3	A2	Matthew Justin Muljadi	インドネシア	150

N2 校内トップはインドネシアの学生

N2 では、受験した 14 人のうち 12 人が合格しました。合格率は 85.7%でした。校内トップは、Ezra Budi Emanuel さん(インドネシア)の 167 点でした。校内平均点は 115.7 点で、全受験者の平均 87.3 点を 28.4 ポイント上回りました。

N2 各分野で満点

分野別に見ると、「言語知識」では Joanna Carla Santoso さん(インドネシア)が 60 点満点でした。「読解」では Ezra さんが 60 点満点でした。「聴解」では、Ezra さん、Matthew Justin Muljadi さん(インドネシア)、Surattanasurang Pavarase さん(タイ)の 3 人が 60 点満点でした。

(日本語能力試験の合格ラインは、いずれの級も 180 点満点中、N1 が 100 点、N2 が 90 点、N3 が 95 点、N4 が 90 点、N5 は 80 点です。)

6 月の日本留学試験 (EJU) 結果

校内平均 281.5 点

世界平均を 31.5 ポイント上回る

《「日本語」校内ベスト 3》(400 点満点)

順位	クラス	氏名	出身	得点
1	A1	陸 芷妍	マカオ	358
2	A1	何 珮萱	台湾	356
3	A1	王 珮心	台湾	343

6 月 19 日に実施された 2022 年度第 1 回日本留学試験の結果が、7 月 27 日にオンライン上で発表されました。今回は、JET の受験者 13 人全員が日本で受験できました。

校内トップは「日本語」(400 点満点)で 358 点を取った陸 芷妍さん(マカオ)で、世界最高の 369 点に肉薄する高得点でした。

進学クラスの平均は 281.5 点で、全受験者の平均 250 点を 31.5 ポイントも上回る素晴らしい成績でした。

今回の国内外の総受験者数は 13,930 人で、昨年度第 1 回の 16,167 人を 2,237 人下回っています。このような受験者の減少傾向は 2020 年度から続いています。

「読解」「記述」で世界最高点

分野別では、「読解」(200 点満点)で、何珮萱さん(台湾)と陸さんが世界最高の 198 点をマークしました。校内平均点は 156.2 点で、世界平均 141.5 点を 14.7 ポイントリードしました。

また、「記述」(50 点満点)では、王珮心さん(台湾)、陸さん、周佳憲さん(台湾)、Ezra Budi Emanuel さん(インドネシア)の 4 人が満点で世界最高点でした。「記述」は校内平均点が 41.9 点で、世界平均の 34.8 点を 7.1 ポイント上回っています。

「聴解・聴読解」(200 点満点)では、陸さんが 160 点と、ここでも校内でトップでした。世界最高は 171 点でした。

92% が 200 点以上

受験した 13 人のうち 12 人が、日本語能力試験(JLPT)の N2 レベル相当とされる 200 点以上を獲得しました。そのうち 5 人の学生が 300 点以上を取っています。

基礎教科でも健闘

基礎教科(文系)では、陸さんが数学と総合科目の合計で 261 点(400 点満点)をとり校内トップでした。

また理系では、Ezra さんが数学、物理、化学の合計で 250 点(400 点満点)をとり校内最高点に輝きました。

「渋沢栄一」縁に北海道清水町へ

9 月 26 日から 29 日までの 4 日間、北海道清水町の研修会に本校の学生 4 人(台湾 3 人、香港 1 人)が参加しました。清水町は、東京の北区を人生の拠点とした渋沢栄一が中心となり農場を開いた地。また、「清水町」という町は台湾にもあり、その 2 つのご縁で今回の研修会が実現しました。

清水町の阿部一男町長をはじめ、役場の方々には、企画段階から研修中まで、ずっとお付き合いいただき大変お世話になりました。日本といっても大都会東京しか知らない学生たちは、大自然の美しさ、厳しさ、広大さに驚きつつも優しい人たちに会い、素晴らしい経験をしてきました。

日本の地方の問題に触れることにより、日本のことをもっとよく知ってもらいたいと思います。清水町とは、地域活性の一助となれるよう、今後も末永くお付き合いさせていただけたらと思っています。(山口)



《参加した梁永榮さん(写真右)の報告文より》

今日は最終日です。朝起きて、荷物の支度と山荘の片付けをしました。もう片付け終わったかと思いましたが、シンクや洗面所などの水滴をきれいに拭かないとよくないらしいです。香港人としては平気ですが、日本人は水垢も気をつけていてすごいと思いました。

その後、お世話になった方々のところへお礼の挨拶に行きました。香港人はあまりこのようなことをしないので、これも日本人の文化だと勉強になりました。

食事後、役場の前田課長にお会いしました。北区と清水町は渋沢栄一さんと縁があるので、渋沢栄一さんにお世話になった大勝神社や寿光寺や農場畜舎に行きました。渋沢栄一さんの偉大さをしみじみと感じました。

最後は、阿部町長と役場の方々に、今後どうやって清水町に関わっていきたいかということについて発表しました。僕は外国人で、清水町に移住する気持ちもないので、はじめは関わり方について全く思いつきませんでした。しかし、考えるうちに、直接関わっていかなくても、宣伝や紹介など間接的な方法もあると気がつきました。それで、友達に十勝清水町の魅力を伝えたいという思いを話しました。

清水町は素敵なところですが、人口がだんだん減っているようで、悲しく感じました。今回、貴重な経験をさせていただいたので、これから清水町の素晴らしさを広めようと思います！

【第 27 回校内スピーチコンテスト最優秀賞】

「社会の期待と私」

Joanna Carla Santos (A2 クラス)

皆さん、こんにちは。A2 クラスのジョアンナです。今日は現代社会の期待についてお話ししたいと思います。

皆さんは、現代社会の中で大きな期待を感じますか。高校を卒業して、大学を卒業して、良い仕事をして、結婚して、そのあとで家族を持つという期待です。この人生のパターンは標準的なパターンだと思われています。皆さんも周りの人にこういう人生スタイルを持つべきだと期待されているかもしれません。ですが、この期待を満たせない人たちもいるでしょう。その人たちは、変だと考えられることもあります。私が今日お話ししたいのは、そういう人たちの人生についてです。

私は厳しい社会の中で育てられてきました。子どものころから、自分の将来を機械のように設定していました。両親と先生たちだけではなく、クラスメートや友達も、みんな一つの道を期待して目指しています。高校を卒業して、すぐに大学に入って、大学を卒業してからいい仕事をして、結婚して、家庭を持ちます。そして、自分の子どもにもこんな風に人生を送らせて、このサイクルをもう一度繰り返すのです。

皆さんは社会の期待に対して疑問を持ったことがありますか。一度も疑問を持たない人もいるでしょう。しかし、私はそうではありません。小学校の時、二つの疑問を持ちました。一つ目は、どうして人は社会の期待を満たさなければならないのか。二つ目は、そもそもどうしてこんな期待が存在しているのか、と考えました。そして高校生の時、頭の中にもう一つ疑問が生じました。それは、どうしてみんなそういう同じ考え方を持っているのかということです。

私は以前、周りの人にいろいろ期待されるたびに、大きな不安を抱えました。万一、一つでも期待が満たせないと、社会に許されず、捨てられるのではないかと不安がずっとあり、それがプレッシャーになりました。そのとき、日本の文学を読み始めました。

私は日本文学の大ファンです。たくさん作品を読んで、一つのことに気づきました。それは、社会の期待を満たせない主人公が登場する日本の小説が多いことです。たとえば、村田さやかさんの「コンビニ人間」という小説に登場するのは、18 年間コンビニでアルバイトしていて結婚したがない女の人です。また、太宰治の「人間失格」は、そのタイトルどおり、もう人間とは言えないほど社会に見捨てられた主人公の人生が描かれています。

そういう小説を通して、私は希望を見つけました。よく文学でテーマになっているということは、社会の期待に対して違和感を覚えるのは私だけではないのだと気づきました。日本の小説を読めば読むほど、目が覚めました。そうです。社会の期待を満たさなくても、悪い人間だというわけではあり



ません。自分と周りの人を傷つけない限り、自分なりの人生を送ってもいいと思います。

たしかにそうだと思わない人もまだ多いです。私が高校を卒業してから、日本語学校に入るためにギャップイヤーをとると決めた時、周りの人々に「え？」という反応を何度もされました。「大学の卒業が皆に比べて遅くなるということ？時間がもったいないんじゃない？」と言われました。

最初は、正直に言うと、とても苦しかったです。そんなことを聞かされた上、学校の同級生と友達、全員が大学に入るのを見て自信がなくなったし、すごく落ち込んでいる日々もありました。

ですが、私は決めたことを変えたくありませんでした。なぜかというと、私の人生だからこそ、決めたことをちゃんとやりたかったからです。そう思っただけで、後ろを見ないで前に踏み出して、私は今ここにいます。

皆さんは、この日本の言葉を聞いたことがありますか。「人は人、自分は自分」。ほかの人と自分は違うので、それぞれ違う道を目指してもいいでしょう。多くの人が決めた道に従わないで、自分なりの道を作ってもかまわないと思います。結局、自分自身の幸せが一番なのです。

社会の期待はいつまでも必ずあると思います。しかし、その期待を満たそうとするかどうかは、全部自分自身のチョイスです。皆さん、ほかの人からの批判を考えずに、好きな道を選んで自分にしか作れない将来を追いかけませんか。

私のスピーチは以上です。ご清聴ありがとうございました。

大東文化大の出張授業に参加

9 月 13 日、進学クラスに大東文化大学経営学部長の高沢修一先生をお迎えし、「経営戦略」と題して経営学の授業をしていただきました。

日本の企業を例に挙げながらの授業に、学生たちは興味津々！授業に集中していく様子が見て取れました。ご講義の後には、3～4 人のチームに分かれて質問したいことを相談し、各チームが発表。個人的に質問した学生も数名いました。



先生からは、「留学生ならではの良い質問で、後期の授業の参考になった」、「きちんと挨拶して入室してくる様子に JET での教育の質の良さを感じた」とのお話をいただきました。

学生たちは大学の講義がイメージでき、経営学の楽しさを感じたようです。大学と日本語学校との連携は、今後も様々なかたちで促進してゆきたいと思います。(木村)



○能楽鑑賞教室

6 月 24 日、学生 9 人と能楽鑑賞教室(国立能楽堂)へ行ってきました。演目は狂言「清水」と能「小鍛冶」。

狂言「清水」では、会場から笑い声が。ある学生からは「ユーモアがあって、とてもおもしろかったです。やっぱり、うそをつくのはよくないですね」との感想が聞かれました。能「小鍛冶」では、展開の早さ、切れのある演技、爽快な謡から成る世界を楽しみました。

能楽の世界を存分に堪能した学生たちは、帰り道でも感想を語り合っていました。(山下)



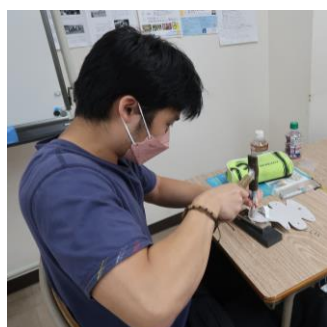
○歌舞伎鑑賞教室

7 月 27 日、学生 10 人と「Discover KABUKIー外国人のための歌舞伎鑑賞教室」(国立劇場)へ行ってきました。この鑑賞教室は、初めて歌舞伎を見る外国人にもわかりやすいように通訳が入った解説が魅力の一つです。

演目は「紅葉狩」。物語前半、2 枚の扇子を使って優雅に舞う姫が後半では一変、鬼の形相となり男に襲いかかります。学生たちは、観客を圧倒する演技に魅了されていました。(山下)

専門学校での体験授業に参加

7 月 22 日、専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジから講師の先生をお招きして、レザーキーケースを作る体験授業を行いました。学生 13 人が参加し、プロの説明を聞きながら色とりどりのキーケースを仕上げていきました。ハンマーを使って、レザーに鉋(びょう)を打つ過程では、おそろおそろハンマーを扱う学生もいれば、何の迷いもなく思い切りたたける学生もいたりして、意外な学生の一面もわかりました。学生たちはできあがったキーケースを大事そうに持って写真に収めていました。(木村)



オンライン日本語教育実証事業、採択

文化庁の「ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業」において、以下の 6 コースが採択されました。

サマーコースは、10 月入学の学生を対象に実施しました。その他のクラスでは、玄奘大学(台湾)の池田辰彰先生にご縁をいただき、台湾で学んでいる大学生たちに授業をしています。

	コース	期間
1	日本事情体験型+テキストで学ぶサマーコース	8/5~9/7 (終了)
2	JLPT 対策 N2 文字語彙・文法	9~11 月
3	JLPT 対策 N3 文字語彙・文法	
4	ビジネス日本語コース	9~11 月
5	EJU 数学対策コース	10~12 月
6	生活者のための日本語コース	11~12 月

湯河原「新やっさ国際交流事業」

9 月 30 日から 10 月 2 日の 3 日間、神奈川県湯河原町で行われた「第 36 回新やっさ国際交流事業」に、Louis Jeremy Masri さん(インドネシア)と Surattanasurang Pavarase さん(タイ)が参加しました。

初めての湯河原で、日本文化の体験や地域の人々との交流を楽しみ、最終日の国際フォーラムでは、SDGs の No.12「つくる責任 つかう責任」をテーマに、他の日本語学校の留学生たちと意見交換をしました。

JET と湯河原町との交流は、かれこれ 34 年になります。

毎年夏には、学生たちがホームステイに参加させていただいています。34 年前、JET から初めてホームステイに行った葉維英さんが、今ではこのイベントの世話役として大活躍しています。

★ ★ ★

《参加学生の感想》

学校で勉強するだけではわからない、大切なことを学びました。非常に勉強になる経験だったと思います。言語の学習は、現地の人々の文化や考えを理解するのに欠かせないことだと気付きました。

(Surattanasurang さん)

最初は緊張しましたが、湯河原での三日間をすごく楽しく過ごせました。沢山友達を作ったり、湯河原の自然を楽しんだり、優しい日本人の方と遊んだりできました。湯河原に着いた時、湯河原の方々が美味しいお弁当と優しい笑顔で迎えてくれて、とても嬉しかったです。とにかく、本当に楽しかったです。(Louis さん)



↑ 健康・長寿のパワースポット！
五所神社の御神木、楠(くすのき)

獨協大から教育実習生

7月21日から8月3日までの2週間、獨協大学から教育実習生を受け入れました。授業見学のほか、スピーチコンテストでは運営スタッフとして参加してもらいました。8月3日には、初級クラスで教壇実習を行いました。



外国と日本を「つなぐ」日本語教育

小川 謙也

7月21日から8月3日までの2週間、教育実習生としてJET 日本語学校でお世話になりました。私は今回の教育実習で、初めて日本語教育の現場を体験しました。その中で、印象に残っていることが二つあります。

一つ目は、日本語教育の専門性です。初級のクラスで見学をしているとき、学生から文型について質問をされましたが、答えが説明っぽくなってしまい、学生に戸惑いを与えてしまいました。その時に「日本語を日本語で教える」ということの難しさに気づきました。こうした視点を持って改めて先生方の授業を見学すると、文型の練習一つとっても様々な工夫が凝らされていることがわかりました。また、色々なレベルのクラスを見学させていただき、授業方式から発話のコントロールまで、リアルな教室でしか得ることができない、多くのことを学ばせていただきました。

二つ目は、JET 日本語学校にいる学生たちの姿です。授業を見学したとき、どのクラスの学生もみな真剣に取り組んでいて、意欲の高さに驚きました。時間のあるときに話しかけると、嬉しそうに日本語で返事や質問をしてくれて、私も充実した時間を過ごすことができました。こうして日本に興味を持って、学びに来ている学生たちを見て、とても良い刺激を受けました。

その国の言葉を学び、そして現地の人と交流することは、表層的な文化を体験するよりも、深い理解が得られると思います。今回の教育実習を通して、日本語教育は外国と日本を「つなぐ」架け橋になるものだと感じました。

改めて、JET 日本語学校の皆様に心より感謝申し上げますと共に、皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

中学生の職場体験

6月14日から16日までの3日間、都立小石川中等教育学校の3年生2人が職場体験に来ました。午前中は留学生との交流活動を行い、午後は事務のお手伝いをしてもらいました。



↑ Fクラス(初級)にて、学生たちが各国の名産品や観光名所を紹介しました。

～前期の日本事情～ 今回も名作が続々と誕生！

6月に開講した前期の日本事情3講座、「なつみの台所」(山下先生)、「和紙と遊ぼう！」(竹川先生)、「絵本作家になろう」(郷野先生)が終了しました。

「なつみの台所」では、肉じゃがや親子丼といった定番の家庭料理を作りました。初めて作った学生たちもご覧の出来。今回



で3期目の本講座、後期も開講予定です。参加したらきっとあなたも「得意料理は肉じゃがです」と言える腕前になること請け合いですよ。

「和紙と遊ぼう！」では、和紙を自分だけの色で思い思いに染めて、味のあるうちわを仕上げました。



「絵本作家になろう」では、色々な質感の線を引いたり、喜怒哀楽を5段階で描いたりといった絵の練習の後で、一人一人オリジナルの絵本を制作しました。誰に読んでもらいたいのか、どう表現したらいいのか、試行錯誤した結果、それぞれの「らしさ」が表れた素敵な絵本が完成しました。



毎期素晴らしい作品がたくさん生まれるので、私たちもワクワクしています。後期の日本事情には新講座が登場するかも…？ 乞うご期待！(郷野)

高校生・大学生との交流

「対面」イベントが帰ってきた！

コロナ禍以降、校内外のイベントの多くが延期や中止、もしくはオンラインでの実施となりましたが、ようやく様々な活動が対面で行えるようになってきました。

○ 6 月 19 日 WIC ショートホームステイ

3 年ぶりに開催された早稲田大学の国際交流サークル WIC のショートホームステイに、JET から 2 人の学生が参加しました。事前の打ち合わせで班ごとに立てた綿密な観光プラン。梅雨の時期でしたが当日は好天に恵まれ、東京散策を楽しみました。「イベントをきっかけに大学生と友達になって、その後も遊びに行っています」と、嬉しそうに話してくれました。

○ 6 月 24 日 初級クラス、順天高校の生徒と交流

授業の後、F クラスの 8 人(台湾、マレーシア)と順天高校(北区)を訪問し、高校生と交流会をおこないました。

4 月に「あいうえお」から始めたばかりの学生たち。はじめはおそろおそろ話し始めたものの、書道部の生徒さんにお習字の手ほどきをしてもらい、好きな言葉を作品にしあげました。初級レベルでも臆せず交流できる手ごたえを感じた一日でした。順天高校の皆さん、ありがとうございました。(得猪)



○ 7 月 6 日 早大生との交流で日本の大学生生活を知る

早稲田大学の学生 3 人を JET にお招きし、E クラスの 11 人と交流会を行いました。このクラスは全員、春に入学したばかり。大学進学を目指す学生が多く、この日のためにたくさん質問を準備していました。「なぜ今の専攻に決めたんですか」、「一番面白いのはどの授業ですか」と投げかけ、身を乗りだして大学生の話を聞いていました。熱心にメモをとる姿も見られました。

「日本の高校生が本当にたくさん勉強しているとわかりました。私ももっと勉強して、良い大学に進学したいです。大学生生活についても知ることができて良かったです」(呉さん)

「大学生の話がちよっと速くて、専門用語も多かったのですが、聴く練習をする絶好の機会だと思いました。楽しかったです」(郭さん)



○ 7 月 10 日 NEIGHBOR の学生とボウリング

学生団体 NEIGHBOR の企画で、大学生と JET の学生 5 人でボウリングに行ってきました。運動の前にはまず食事。大学生にコツを教わりながらお好み焼きを作りました。肝心のボウリングは暴投連発だったそうですが、会話は日本語でたくさんでき、楽しい一日になったようです。

○ 7 月 20 日 目白大生との交流

D クラスの 11 人が、目白大学の学生 7 人と交流会をしました。自分の出身地を紹介したり、先生にはなかなかできない質問をしたりして、交流を楽しみました。

出身地の紹介では、資料も作り込み、万全な準備をした学生たちでしたが、その場のやりとりや質問は、やはり対面ならではのもの。始めは緊張の面持ちでしたが、大学生のサポートもあり次第に打ち解けていき、「あつという間だった」、「もっと話したかった」との感想が多く聞かれました。(山下)



○ 8 月 12 日 サマーコースの学生、大学生と交流

オンライン実証事業(4 面に関連記事)のコースの一つである「オンラインサマーコース」の授業内で、大学生との交流会を開きました。授業で学んだ「名前の由来と時代」に関連して、自分の名前やふるさとの地名の由来について事前に調べてきたものを発表しました。



全員、10 月に入学予定の学生たち。これから始まる留学生活に向けて、良い練習になったことでしょう。

○ 9 月 11 日 WIC オンラインイベント

WIC 主催のオンラインイベントに、6 人の学生が参加しました。Zoom 上で、日本人大学生とゲームやフリートークをして交流を楽しみました。



今回参加した 6 人のうち 3 人は、昨年度 1 年間オンラインで受講していた学生です。この春に念願の入国が叶って以来、学校から案内されたイベントには、対面・オンライン問わずどんどん参加しています。中でも張さん(台湾)は、1 年半前、入学したての初級レベルの時からこの WIC のオンラインイベントに参加してきました。今では日本語力も上達し、ずっと夢見ていた専門学校にも合格しました。

自分から食欲にチャンスを掴みにいくことが日本語力の上達に繋がります。後輩の皆さん、先輩に続け!(郷野)

講談師 神田京子氏による 「続・渋沢栄一伝」を聞く

7 月 15 日午後、学生 14 人と、神田京子氏の講談『続・渋沢栄一伝～細心にして大胆なれ』、そして国際政治学者木村昌人氏の講演『渋沢栄一が目指した国際平和』(東京都北区・東京商工会議所北支部共催)を聞きに行きました。神田京子氏の講談は昨年に続く続編、できたて初披露です。

学生たちは授業であらかじめ渋沢の業績を調べ、『論語と算盤』を読んだ上でのぞみました。「講談は、話すスピードが速くても楽しくて、いつのまにかその世界へ引き込まれた」(許惟婷さん)、「京子さんはいい声で清涼感がある。着物が似合っていてきれいだった」(金時葉さん)、「ぼくも京子先生のようにユーモアをもって情熱が伝わるパフォーマンスを目指したい」(ニコラスさん)。また、木村氏の講演を聞いて、「渋沢の国を超えた『公益』という考え方は、日本的なグローバス功利主義の理論構築の可能性を持つと思う」(尤智威さん)と考察した学生も。さっそく翌日に飛鳥山の渋沢資料館へ行った学生もいました。(得猪)



↑ 講談のあと、越野理事長と

学 校 日 誌

○ 6 月 19 日 2022 年度第一回日本留学試験(EJU) (2 面)

○ 6 月 24 日 能楽鑑賞教室 (4 面)

○ 6 月 27 日 企業経営者との意見交換会 (8 面)

○ 6 月 28 日 漢字クラス進級テスト

試験の結果、4 人の学生が満点合格し、飛び級で上のクラスに入りました。褒賞として、学校から漢字ノートとお菓子のセットが贈られました。

○ 6 月 29 日 結核検診

○ 7 月 3 日 2022 年度第一回日本語能力試験(JLPT) (1 面)

○ 7 月 8 日 大学院進学希望者の研究計画発表会

○ 7 月 15 日 神田京子氏 講演会

○ 7 月 22 日 専門学校体験授業 (4 面)

○ 7 月 27 日 歌舞伎鑑賞教室 (4 面)

○ 7 月 29 日 校内スピーチコンテスト (1、3 面)

○ 8 月 5 日 オンラインサマーコース開講

○ 8 月 13 日～21 日 夏休み

○ 9 月 1 日 基礎科期末試験

○ 9 月 5 日 JLPT 対策講座開講

○ 9 月 8 日 進学科期末試験

○ 9 月 13 日 進学科 大東文化大の出張授業に参加 (3 面)

○ 9 月 13 日 漢字クラス期末試験

2 人が満点合格し、学校から図書カードが贈られました。

○ 9 月 14 日 茶道体験(F クラス)



↑ 得猪先生のお点前指導のもと、山口校長に一服さしあげる Kai Jian さん(マレーシア)

○ 9 月 15 日 ビジネス日本語講座開講

○ 9 月 16 日 修了式

山口校長から基礎科の学生 2 人に修了証書が授与されました。また、2 年皆勤の尤智威さん(写真右)の表彰も行われ、副賞として後援会から図書カードが贈られました。



○ 9 月 26 日～29 日 北海道清水町ホームステイ (2 面)

○ 9 月 30 日～10 月 2 日 第 36 回新やっさ国際交流 (4 面)

久々の対面！ 企業経営者との意見交換会

6 月 27 日、就職セミナーのしめくくりとして、恒例の企業経営者(東商北支部きた経営塾のみなさん)との意見交換会をおこない、学生 9 人が参加しました。対面での開催は 2 年半ぶりです。

学生たちは、3 社の社長さんと奥山信也先生にそれぞれの質問を投げかけ、回答に熱心に耳を傾けていました。これで前期全 6 回の就職セミナーが完結し、学生たちの就職活動が本格始動します。

社長さんたちの熱きご指導におおきにパワー注入されていますね！ありがとうございます。(得猪)



北区日本語教室第一期終了

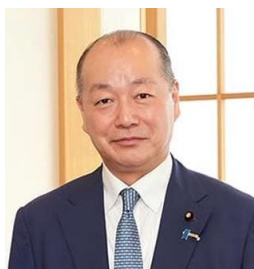
5 月に始まった第一期北区日本語教室が終了しました。アンケート結果を見せていただいたところ、授業は大好評で、学習者の満足度が大変高かったことがわかりました。コメントの中には、「Teacher and Staff are super nice!!」という嬉しいお言葉もありました。

第二期も、9 月 6 日から始動しています。

地域の日本語教育は様々なレベル、様々な目的の方が一緒に学ぶ難しさがあります。私も地域日本語教育コーディネーターとしてはまだまだ初任者です。いただいた言葉に慢心せず、もっともっと良い教室を作っていきたいと思います！学習者のみなさん、サポーターのみなさん、ありがとうございました！(山口)

高木副理事長 外務大臣政務官に

8 月に高木啓副理事長が外務大臣政務官に就任しました。インドネシアでの G20 出席をはじめ、海外の政府要人との会談等で国際的な活躍をされています。なお、政務官の規定により JET の理事及び評議員は辞任することとなりました。



追悼 安倍晋三 元首相

日本の首相が毎年交代を繰り返すなか、混迷の挙句に起きた 2011 年の大震災。第二次安倍内閣は、多くの日本人が傷つき、自信を失っていたときに登場しました。

学生募集のために、たびたび東南アジア諸国を訪れてきましたが、安倍さんが 2012 年 12 月に首相になってからは、海外の若者たちの日本に対する見方が変わってきたように思います。

「日本を取り戻す」

安倍さんは、日本人が忘れかけていた日本の伝統美から、最新の若者文化に至るまで、実に精力的に、実に効果的に発信を続けてこられました。

安倍さんは、海外で日本の魅力をかっつないほど高め、広めてくれた立役者でした。

親日家が増えることで、わたしたち日本人は自信や誇りを取り戻していったのではないのでしょうか。

世界中に、日本が大好きな若者が増え、日本語を勉強したいという若者が増える。その若者たちが様々なかたちで日本を応援してくれる。

2011 年の震災後に、インドネシアの大学生たちが「日本よ、世界の真ん中で咲き誇れ」と歌った曲『桜よ』は、安倍首相の所信表明演説で紹介され、日本を勇気づけてくれました。

いまわが校の教師たちの携帯には、安倍さんの死を悼む卒業生たちからのメッセージが絶えません。

JET 日本語学校は、教職員一同、安倍元首相の無念の訃報に接し、深い哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

2022 年 7 月

学校法人 JET 日本語学校

名誉理事長 金 美 齢

理 事 長 越 野 充 博

専 務 理 事 井 上 靖 夫

校 長 山 口 閑 子



このたび出版された写真集『安倍晋三 MEMORIAL』のなかで、JET 日本語学校創立 30 周年と金美齢名誉理事長旭日小綬章受勲を祝うパーティーの写真が取り上げられています。

これは 2018 年 2 月 7 日、金先生のお誕生日に帝国ホテルで 200 人のお客様をお招きしてとりおこなわれたものです。主賓は、安倍晋三首相ご夫妻でした。